

インターネットエンジの設置に向けた調査研究をしてまいります。

(4) 航空基地との連携

航空自衛隊基地は、地域経済への波及のみならず町の振興に様々な関わりを持つとともに、災害時における支援活動など町民生活と密接な関係にあります。自衛隊基地の有効活用、現部隊の維持と新たな部隊の配置を目指し、また、防衛施設周辺整備事業の拡充等についても要請活動をしてまいります。

4. 安全と安心が確保される潤いのあるまちづくり

(1) 防犯・交通安全の推進

防犯、交通安全対策につきましては、町民一人ひとりが危機意識を持つことが大切であります。特に高齢者や児童生徒につきましましては、町内会や関係機関との連携により意識の高揚を図り、なお一層の予防対策に力を入れてまいります。

また、消費者トラブルが複雑で高度化している中、広域化による消費生活相談体制の充実を図るとともに、消費者教育・啓発の充実にも努めてまいります。

(2) 消防・救急と防災

町民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために、消防防災力の強化と消防施設等の整備

に努めてまいります。

消防団員が各種災害に的確に対応できるよう、安全装備品を整備し、資質の向上と士気の高揚に努め、また、消防団員の加入促進を図り、短期人間ドックを実施するなど福利厚生にも努めてまいります。

救急については、救命士の気管挿管等の資格認定者を養成し、AED救急講習会も積極的に開催し、救命率の向上に努めてまいります。

火災予防については、防火講習会や避難訓練、ひとり暮らし高齢者世帯の防火訪問等、防災・防火意識の高揚に努めてまいります。

今年度、南西沖地震を想定した北海道防災総合訓練が行われますが、当町においては、住民等の避難訓練をはじめとした総合訓練を合わせて実施するとともに、町内会等が主体となった個別の避難訓練や防災意識を高める研修などを実施してまいります。

また、災害に備えた防災備蓄品を昨年度に引き続き整備してまいります。

(3) 循環型社会の推進

ごみから資源に転換する「循環型社会」の形成を図ることは、環境を守るためにも非常に大切なこととなります。

ごみの減量化および資源化をより一層進めるため、大人はも

とより子どもたちへの啓蒙を図り、リサイクルの意識向上に努めるとともに、引き続き有価物の回収を推進し減量化に努めてまいります。

生ごみについては、事業系の生ごみの収集を強化するため、関係機関と連携し収集の定着化、収集量の増加を図ってまいります。

平成13年度から供用開始している「八雲町一般廃棄物最終処分場」は、当初計画では平成27年度で埋め立て容量が満杯となる予定でしたが、ごみの減量化等により、平成32年度頃まで残余年数が伸びる見込みであることから、使用期間の延長について地元との協議やその後の処分場計画について検討を進めてまいります。

(4) 上水道・下水道の整備

水道事業は、各施設や配水管等の計画的な更新や整備を行い、安心・安全な水道水の安定供給に努めるとともに、懸案事項でありました八雲地域の河北地区（立岩・山崎）の水道水の普及につきましましては、農林水産省事業を活用した整備に向けて、水源のボーリング調査等を進めてまいります。

落部簡水は、栄浜浄水場の配水池計装設備の老朽化に伴う更新、熊石簡水では、浄化場等の電気計装設備整備に伴う実施設計を行うこととしております。

下水道事業については、引き続き未整備区間の計画的な推進を図りながら土地利用状況と人口動態を考慮し、適正な施設整備に努めるとともに、八雲下水処理施設の老朽化対策の基本計画を策定し、次年度以降、順次施設更新を行う予定となっております。

下水道整備区域外につきましては、合併浄化槽の補助金制度の活用による水洗化の推進を図ってまいります。

下水汚泥・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うための汚水処理施設共同整備事業は、早期実施に向け引き続き関係機関等と協議を進めてまいります。

なお、今年4月より水道および下水道料金の改定を予定しておりますが、より一層、安心・安全な水道水の供給に努めてまいります。

(5) 環境美化の推進と公園・緑地の充実

道立噴火湾パノラマパークについては、引き続き3期目4年間の指定管理者を受託し、美しさと楽しさ、安全性を三本柱に、多くの皆さまに愛されるよう管理運営に努めてまいります。

また、各都市公園、児童公園につきましても、町内会等の協力を得ながら、美しさを保つとともに、子どもたちがいつでも安心して遊べるよう適正な維持

管理に努めてまいります。

5. 健やかに充実して暮らせるまちづくり

(1) 保健・医療の充実

急速な高齢化の進展や生活習慣病の増加など疾病構造が変化する中、健康寿命の延伸を図るためには、町民一人ひとりの健康づくり意識の向上が必要とす

そのため、町民ドックや住民検診をはじめ、各種がん検診、特定保健指導、健康づくり教室等を通じて、町民一人ひとりが疾病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善と生活習慣病の予防に取り組む意識の醸成と普及啓発に努めてまいります。

特に、働く世代の女性支援のためのがん検診推進のため「子宮頸がん」および「乳がん」検診の受診勧奨事業を実施し、受診率の向上を図ります。また、新たに大腸がん検診の無料クーポン券配布により、がんの早期発見に努めてまいります。

町民の健康保持・増進、健康寿命の向上を図るため、今年度、関係団体等による策定委員会を設置し「健康増進計画」を策定いたします。

道南圏域内の救急医療体制の充実を図り、救命率の向上と救急医療水準の高度化に資するた